

News Release



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

同時発表記者クラブ

千葉大学：千葉県政記者クラブ

金沢大学：石川県文教記者クラブ，文部科学記者会

長崎大学：長崎大学記者クラブ

平成27年7月10日

各報道機関文教担当記者

国立3大学による先進予防医学共同専攻（共同大学院） の設置について

このたび、千葉大学、金沢大学および長崎大学の国立3大学による先進予防医学共同専攻（共同大学院）を平成28年4月に設置することとなりましたのでお知らせします。

本共同大学院は、平成24年度文部科学省「国立大学改革強化推進事業」の採択を受け、設置するものです。3大学それぞれの強みを組み合わせた同一のカリキュラムを編成することにより、個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実現する「先進予防医学」を実践できる専門家の養成を共同で行います。

なお、千葉大学においては大学院医学薬学府に、金沢大学においては新設する大学院先進予防医学研究科に、長崎大学においては大学院医歯薬学総合研究科に下記のとおり共同専攻を設置することとなります。

千葉大学大学院医学薬学府 先進予防医学共同専攻（入学定員：10名）

金沢大学 大学院先進予防医学研究科先進予防医学共同専攻（入学定員：12名）

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（入学定員：10名）

また、各大学の問い合わせ先は【別紙】のとおりです。

【参考】

文部科学省「国立大学改革強化推進事業」

国際的な知の競争が激化する中で、大学の枠を超えた連携の推進や個性・特色の明確化などを通じた国立大学の改革強化を推進することを目的とした事業

0次予防

①前の世代から引き継ぐゲノム及びエピゲノム情報、②胎内及び出生後の物理的、化学的、感染等の生物的、社会的な環境情報、③環境要因によるゲノム及びエピゲノム変化を介した遺伝子発現情報 をそれぞれ把握することにより疾患発症の予防につなげること

【別 紙】

○問い合わせ先

《千葉大学》

(本件照会先)

千葉大学予防医学センター 花里

Tel : 043-226-2017

(担当)

千葉大学医学部総務係

Tel : 043-226-2501

《金沢大学》

(本件照会先)

金沢大学グローバル人材育成推進機構教育政策室 三島

Tel : 076-264-5018

(担当)

金沢大学総務部広報室 寺口

Tel : 076-264-5024

《長崎大学》

(本件照会先)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科学術協力課 深堀

Tel : 095-819-7193

「先進予防医学」共同大学院設置構想

先進的な予防医学をめざして

少子・超高齢化社会の到来，生活環境の変化，経済的格差の拡大等を背景とした医療・保健に関する諸課題を解決し，活力ある社会の発展・成長に向け，予防医学の新たな教育研究拠点の形成と人材育成に取り組みます。

本共同大学院の設置趣旨

本共同大学院では，従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤としながら，個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し，0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実現する「先進予防医学」を掲げ，それを実践できる専門家を育成することを目的としています。

本共同大学院の特色

本共同大学院は，千葉大学，金沢大学，長崎大学の国立3大学が持つ強み，

千葉大学：マクロ環境評価・解析

金沢大学：オミクス解析

長崎大学：情報医工学

を組み合わせたカリキュラムを編成します。併せて3大学が有する国内・海外拠点のフィールド活用や，地理的に離れた地域のデータの集積・標準化等を行うことにより，本共同大学院の設置趣旨に合う教育研究・人材育成の基盤が担保できると考えています。

0次予防の概念を加えた “兆し前”からのアプローチ

従来の予防医学で実施していた1次から3次までの予防段階に加え，発病前の段階から罹患を予測し未然に予防する「0次予防」の概念を加えた，新たな方法論を確立します。0次予防から3次予防を相互に関連付け，統合的に扱うことで，免疫疾患，生活習慣病，精神・神経疾患，希少疾患等の発病の可能性を低減させることをめざします。

革新予防医科学共同教育研究センター
<http://www.s-yobou.jp/>



本共同大学院の基本方針（3つのポリシー）

本共同大学院の基本方針（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）は以下のとおりです。これらの方針に基づき、入学選抜、教育・研究指導等を実施し、目的に適った人材育成を実現します。

●アドミッション・ポリシー

本共同大学院では、従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤とし、新たな方法論として、オミクス情報からマクロ環境情報まで個人と環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括して個別化予防を目指す「先進予防医学」を実践できる専門家を育成することを目的とする。したがって、幅広い視野と創造性、自立性、倫理観を備えて、健康増進に強い関心と研究への意欲を持つ者を求める。

●カリキュラム・ポリシー

高度な知見・技術を習得し、それを実践できる能力を身に付けさせるようカリキュラムを構成する。具体的には、先進予防医学の基盤となる、医療統計学・疫学、生命倫理、環境と遺伝といった学問基盤に関する科目群を設ける。なお、非医療系入学者に対しては、基本的な医学知識を習得する科目を履修させる。その後、0次予防から3次予防までを包括して個別化予防を目指す「先進予防医学」を実践するための方法論を習得させるために、オミクス解析、情報医工学、マクロ環境等の科目群を設ける。その上で、修得した知識を活用し、実践できる力を身に付けさせるために、国内・海外の多様なフィールド実習の科目群を設ける。学位論文作成においては、知識の修得段階に応じ研究力強化の科目を含め、構成大学の教員が体系的な研究指導を行う。

●ディプロマ・ポリシー

本共同大学院を修了することによって、個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括して個別化予防を目指す「先進予防医学」を実践することができる。それにより、多様で複雑化する医療現場・社会において生じている様々な課題を、高度な知見と技術をもって、解決に導くことができる。

インターネットを活用し、多様なメディアを駆使した授業を取り入れ、柔軟なカリキュラム編成を実現。きめ細やかな履修指導と合わせて、働きながらの履修も、十分に可能な体制を整えています。

本共同大学院の名称と授与する学位

本共同大学院は、千葉大学、金沢大学、長崎大学の3大学が共同で教育課程を編成し、実施します。具体的には、千葉大学大学院医学薬学府、金沢大学大学院先進予防医学研究科、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科のそれぞれに「先進予防医学共同専攻」が開設されます。入学時は、任意の大学を選択できますが、受けることのできる教育内容は同じです。

また、教育課程は4年制の医学博士課程のみであり、授与する学位は、「博士（医学）」の予定です。



つねに、より高きものをめざして

首都圏に位置する総合大学として、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通し「生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学」として、たゆみない挑戦を続けています。



地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

21世紀の時代を切り拓き世界の平和と人類の持続的な発展に資するために、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」をめざしています。



社会の調和的発展に貢献する大学

日本の西洋医学発祥の地として、長崎に根づく伝統的文化を継承し、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造し、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続けます。

医学分野での強み

マクロ環境医学／免疫環境医学／サステナブル環境健康学

医学薬学府

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】

先端医学薬学専攻

医学分野での強み

ミクロ診断学／DNAチップ診断／テーラーメイド予防医学

先進予防医学研究科

共同専攻（大学院）

共同教育課程（点線枠内で同一の教育カリキュラムを持つ）

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】

医薬保健学総合研究科

医学分野での強み

放射線健康リスク制御学（国際放射線保健医療研究）／情報工学（神経情報学）／離島・へき地医療学

医歯薬学総合研究科

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】

医療科学専攻

放射線医療科学専攻